

2月議会
議案質疑

わしの恵子議員

愛知も夜間中学を設置し、義務教育の機会の保障を

2019年度予算議会 3月8日

わしの議員は、2月議会本会議（3月8日）で、「夜間中学」について質問しました。

文科省は2017年基本指針で、「全ての地方公共団体に夜間中学等の設置を含む就学機会の提供その他の必要な措置を講じること」と規定していますが、夜間中学は、全国にわずか31校しかありません。

また、愛知県には夜間中学はなく、愛知県教育・スポーツ振興財団が運営する「中学夜間学級」が行われているだけです。

わしの議員は、「中学夜間学級には定員があり、日本語会話ができるないと入れない。授業日数も週3日、給食もなく行事なども少ない。それに対し夜間中学は、週5日で運動会や文化祭、修学旅行もあり、給食も半数は実施している。」と違いを示し、「愛知県の中学夜間学級は、全国の公立夜間中学と異なる点がいくつあるが、それについてどのように考えているか、また、文科省が作成した基本指針では夜間中学校等のニーズの把握が指摘されているが、県としてニーズをどう把握しているの



か」と尋ねました。

教育長は、「運営に必要な経費は県が措置し、授業料は無償として、学びやすい環境を整え、40年余りの間に609人が卒業し、生徒は目標に向けて意欲的に授業に取り組み、卒業生の約半数が進学するなど、他県の夜間中学と運営形態は異なるものの、義務教育未修了者や外国人等の学習機会の確保に、たいへん大きな役割を果たしている。

平成29年度から、市町村教育委員会に対し、設置意向等の調査を実施しているが、夜間中学の設置要望や問い合わせを住民から受けたことはなく、現時点では、夜間中学の設置は検討していないとの回答を得ている。」と答弁。

わしの議員は、「公立の夜間中学は、東京は8校、大阪には7校ある。文科省も『県に少なくとも一つ設置』と言っている

のだから、大県である愛知には、名古屋市内に1校、他の地域にも1校というような設置を考えいくべきではないか。」と質問しました。

教育長は、「市町村の意向を把握しつつ、他県の状況等を調査し、設置主体、費用負担等の課題について、研究を進めているところ」と答えました。

わしの議員は、「全国では、静岡県を始め、神奈川県相模原市、茨城県常総市、札幌市が、聞き取り調査やアンケートで「夜間中学」のニーズを確認し、この2月定例会にて、新設を表明している。愛知県としても、夜間中学に対するニーズは市町村に聞くだけではなく、県としても把握することが必要だ。」と指摘し、最後に、「全国では、中学教育を受けずに学齢期を過ぎた国民は百数十万人いるといわれ、愛知県でも夜間中学に対するニーズは必ずあると思う。現在行っている、『中学夜間学級』1か所だけでは不十分。義務教育を受けられなかった人たちの学び直しの場として、文科省の言う公立の夜間中学を設置し義務教育の機会を保障すべきだ。」と強く要望しました。



